

キャラクター名	プレイヤー名
狛片 写楽 こまがた しゃらく	

シンドローム	モルフェウス ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	現在なし
オプション		年齢	42	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	恐怖	初期侵食率	41 %
出自	警部補	経験	結婚	邂逅	遊園地にてオーヴァードに遭遇

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	3	0	0			3	行動値	8
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚	3		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ	射撃	4r+2		+Lv+4		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
インターセプトアーマー	10	5		-1	

所持品		合計装甲:	5	合計回避:	0
要人へのコネ		ロイス			
思い出の品: 結婚指輪		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ マス
ダーマルプレート		息子	P 庇護	N 呵責	
		妻	P 庇護	N 劣等感	
		リア	P 庇護	N 不安	
		御陵岬美咲	P 連帯感	N 憐憫	
		蒼 剣士	P 同情	N 嫌悪	
		白菊	P 庇護	N 脅威	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
黄金錬成	3		常時	至近	自身	自動		
効果:	常備ポイント+ [Lv*3] 侵食値影響無。侵食基本値+3。							
ハンドレッドガンズ	1	3	マイナー	至近	自動	自動		
効果:	武器作成							
巨匠の記憶	5	2	メジャー					
効果:	芸術:、知識:、情報:、と組み合わせ可。D+Lv。							
アームズリンク	1	2	メジャー	武器		対決		
効果:	判定D+Lv							
コンセントレイト	3	2	メジャー			対決		
効果:								
アタックプログラム	5	2	メジャー	武器		対決		
効果:	攻撃の命中判定+ [Lv*2]。							
磁力結界	3	3	オート	至近	自身	自動		
効果:	ガード時宣言、ガード値+LvD。							
パーフェクトコントロール	1	4	オート	至近	自身	自動	80	
効果:	判定直前、達成値+10。HP-5。シーン1回。							
クリスタライズ	3	4	メジャー			対決	100	
効果:	攻撃力+Lv*3。装甲無視。シナリオ3回。							
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動		
効果:	カバリング。							
ハードワイヤード	5		常時	至近	自身	自身		
効果:								
砂の祝福	1	4	オート	至近	自身	自動		
効果:	砂の結界付加、+Lv*10m。シーン1回。							
シークレットポケット	1		常時					
効果:	体のどこかに小さいものを隠す。Lv個。							

健全な学生生活を過ごした狛片は、次第に「強き人は弱き人を守ることが使命」というと感じるようになり、その頃話題になっていたテレビドラマの警察に憧れ、警察を目指すようになる。人並みに苦勞し、人並み以上に努力した彼は順調に警察となり、また要領の良さから順調に出世の道も歩んでいった。それでも、彼は「弱き人を守る使命」を忘れてはならず、意欲に反比例して現場での仕事が少なくなっていることに悩んでいた。ある日、非番であった彼は家族とともにショッピングモールに出かけていた。そこで暴動と出くわした彼は、妻と娘を置いて鎮圧行動に出た。暴徒と対峙し、まず投降交渉を行う狛片だが、振り向いた暴徒の殺気、もといワーディングにあてられ身の毛がよだつ思いをした。全身の細胞が軋み、うちから怒りのような激しい感情が湧き上がってくるのを感じる。そうやってオーヴァードに覚醒した彼だが、覚醒とともに彼は理性を飛ばされ、レネゲイドの暴走によってなりふり構わず敵に飛び込んだ。しかし、オーヴァードの戦闘に慣れたものと発狂状態で戦闘することは分が悪く、狛片は程なく敵の力に伏した。

目を覚ました彼はUGNが運営する療養施設のベッドの上で横になっていた。状況を理解できない自分に対し、UGNは、レネゲイドのこと、オーヴァードのこと、そして、事件の行く末を知った。直ちに妻と子供の安否を心配した彼はそのことを問うと、園内の生存率は絶望的で、身元が確認できない遺体の中に二人がいるかもしれないと告げられる。狛片は、暫くその事実と呆然自失としているしかかった。

退院の日、UGN職員が狛片に対し「警察に所属していたという経歴は実力の上でほしい人材だ。」と、スカウトされる。狛片は「交渉相手を実績だけで判断するんじゃないか」と言い返すと、職員は「家族が亡くなったといつてめめめしている使えない元警察官風情を雇ってやる」と告げられる。

「ガキは生きていて、UGNが管理する児童養護施設で預かっている状態だ。」職員は次いで「お前に現役へと復帰する気概があるなら私のもとにこい、有能なら使ってやる」と告げてくる。

